

# 宗像市景観計画(案) 変更概要(景観形成基準)

市では、世界遺産を保全するため、玄海地区、大島地区等を特に重要な区域として、景観誘導を推進しています。

今回、世界遺産と地域住民の生活との調和を図り、地域の持続的発展を可能なものにするため、基準の見直しを検討しています。

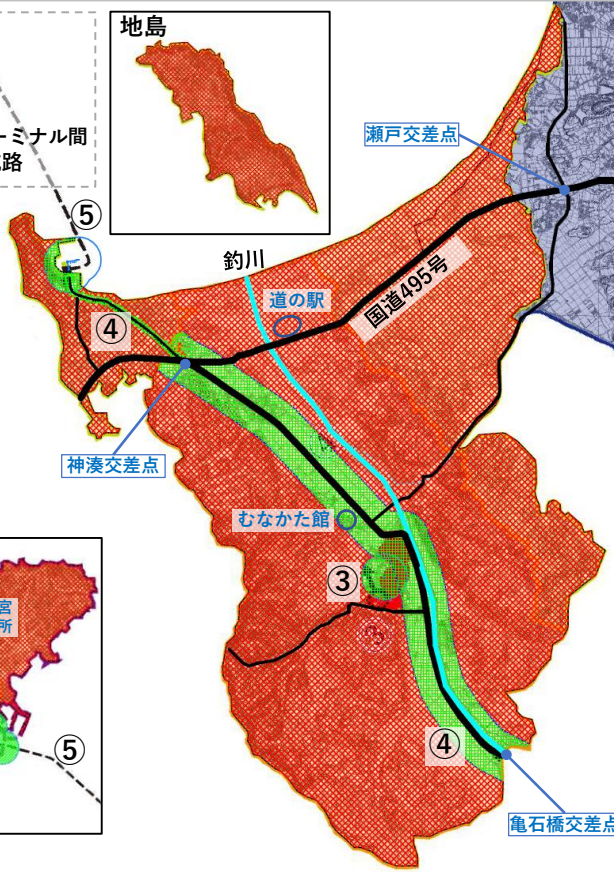
## 見直し① 屋根形状について 対象地区:景観重点区域Ⅰ・Ⅱ

赤文字・・・今回追加

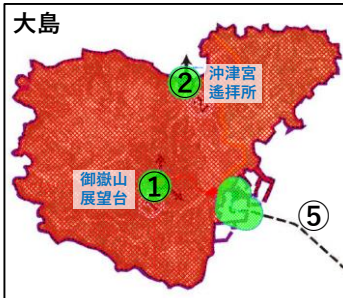
【視点場】

- ①御嶽山展望台
- ②沖津宮遙拝所
- ③高宮祭場
- ④亀石橋～神湊港渡船ターミナル間
- ⑤神湊～大島間の渡船航路

地島

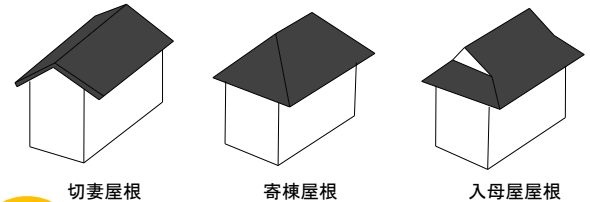


大島

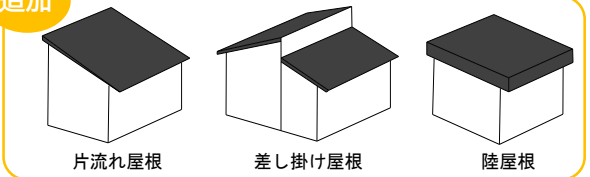


◆ 切妻・寄棟・入母屋屋根に加え、**片流れ・差し掛け・陸屋根の建物を建てるができます。**(赤色部分)

◆ 世界遺産や視点場周辺等の特に配慮が必要な区域では、今まで通り、切妻・寄棟・入母屋屋根のみ認められます。(緑色部分)



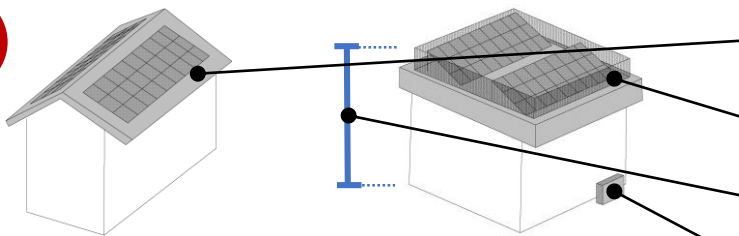
追加



## 見直し② 太陽光発電設備について 対象地区:景観重点区域Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

赤枠・・・今回追加

新設

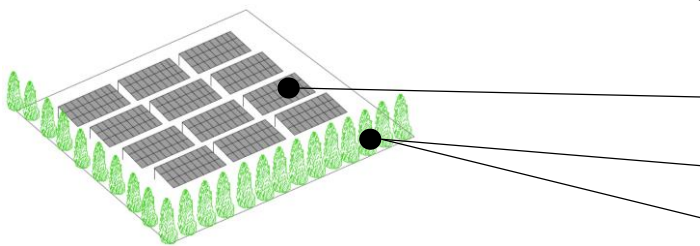


◆ 屋根と同じ角度で、屋根にピッタリくっつけます。  
◆ 色は屋根の色と合うようにします。(低明度・低彩度・低反射)

◆ 柵を設置する等、見えないようにします。

◆ 太陽光発電設備等を含め、限度内の高さに抑えます。

追加



◆ 附属設備は、目立たないよう色を修景します。

◆ 色は、低明度・低彩度・低反射のものを使用します。

◆ 周囲に植栽・植樹などを行い修景します。

◆ 継続的に維持管理します。